

令和5年2月14日

各位

会社名 株式会社バルコス
 (コード番号 7790 TOKYO PRO Market)
 代表者名 代表取締役社長 山本 敬
 問合せ先 執行役員管理部長 佐伯 英樹
 TEL 0858-48-1440
 URL <https://www.barcos.jp/>

個別業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

令和4年12月期通期の個別業績について、前期実績値との間に重要な差異が生じることとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 個別業績の前期実績値との差異について

令和4年12月期通期個別業績数値（令和4年1月1日～令和4年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績(A)	4,551	△53	△47	△54	△48.03
今回実績(B)	3,280	△63	△51	△49	△43.77
増減額(B-A)	△1,270	△9	△4	4	
増減率(%)	△27.9	-	-	-	

2. 前期実績値との差異が生じた理由

【売上】 前期実績 4,551百万円 今回実績 3,280百万円

第1四半期、第2四半期は例年どおり推移しておりましたが、第3四半期から徐々にロシアのウクライナ侵攻の影響や外国為替市場の急激な円安の影響により個人消費者の消費マインドが冷え込み、売上が減少しました。第4四半期で売上改善のための施策を実施し売上高を計画値まで改善し、計画を達成できる見通しをしておりました。第4四半期では第3四半期に比較し受注が増加しており、業績が回復してきておりましたが、商品生産国である中国が新型コロナウイルス感染症に対する対策としてロックダウンの

措置を取ったため商品の生産がストップし、注文を受けている商品を年度内に納品することができず、その結果売上が前年を下回りました。

【営業利益】 前期実績 $\Delta 53$ 百万円 今回実績 $\Delta 63$ 百万円

売上減少に伴う売上総利益の減少により営業利益が減少いたしました。第4四半期には営業利益を改善するためコールセンター業務と出荷業務を内製化しコスト削減を図り営業利益の改善を計画しておりましたが、中国のロックダウンの影響によりサプライチェーンが機能しなくなり、注文を受けている商品を年度内に納品することができず、その結果の営業利益は $\Delta 63$ 百万円になりました。

【経常利益】 前期実績 $\Delta 47$ 百万円 今回実績 $\Delta 51$ 百万円

営業利益の減少により、経常利益は $\Delta 51$ 百万円となりました。

【当期純利益】 前期実績 $\Delta 54$ 百万円 今回実績 $\Delta 49$ 百万円

法人税等調整額の影響により当期純利益は $\Delta 49$ 百万円となりました。

以上